第30講　幕藩体制の動揺と天保の改革

1　百姓一揆と打ちこわし

①背景

A　天災・地変の連続による凶作・飢饉(ききん)の頻発(ひんぱつ)⇒**三大飢饉**など

あ　**享保(きょうほう)の飢饉**(1732年)

西日本一帯。長雨(ながあめ)，冷害，蝗(いなご)・ウンカの大発生が原因。

☆幕府・各藩は積極的な“お救い政策”を行ったが，**江戸では初の打ちこわし**が起きた。

い　**天明(てんめい)の飢饉**(1782年～87年)

東北・関東地方を中心とする全国一帯。長雨，冷害，**浅間山大噴火**(1783年)などが原因。

☆一部の藩を除き対策は不十分。江戸・大坂など主要都市で**天明の打ちこわし**が起きた(1787年)。

う　**天保(てんぽう)の飢饉**(1833年～36〔39〕年)

東北を中心とする全国一帯。冷害・洪水などが原因。

☆幕府・各藩の対策は自領の利害を中心に行われたため，農村では飢饉が慢性化(まんせいか)，都市では米価が高騰(こうとう)した。その結果，**甲斐国郡内(ぐんない)騒動・三河国加茂(かも)一揆**(1836年)や**大塩の乱**(1837年，大坂)など，天領〔幕領〕でも大きな事件が起きた。

B　**幕藩領主の重税**

C　特権商人(都市問屋商人)の進出

D　高利貸しの返済請求

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②展開⇒一揆は3000件，打ちこわしは500件以上

A　愁訴・強訴・逃散など(17世紀前半)

徳川氏の支配に抵抗する旧武士層も参加。中世一揆の名残が大きい。

B　**代表越訴型一揆**　　(17世紀後半)

村の代表者である名主層(下総国**佐倉惣五郎〔木内宗吾〕**・上野国磔茂左衛門ら⇒**義民**)の領主への**直訴**。

☆年貢減免・不良代官の罷免などを要求，小規模で件数も少ない。

C　**惣百姓一揆**　　(17世紀後半～)

あらゆる階層の農民が総動員された一揆。広域的で大規模な，百姓一揆の典型。**傘連判状**を作成し，主謀者を隠すことが多い。藩全域で発生するものを**全藩一揆**，複数の天領と藩領で発生するものを幕藩一揆という場合がある。

☆年貢減免・不良代官の罷免だけでなく，**専売制反対**・国産品への運上賦課反対などの要求も登場。

1686年　嘉助騒動　(信濃国，松本藩)
1738年　元文一揆　(陸奥国，磐城平藩)
1754年　久留米一揆　(筑後国，久留米藩)
1754年～郡上一揆　(美濃国，郡上八幡藩)
1771年～大原騒動　(飛騨国，天領)
1793年　武左衛門一揆(伊予国，吉田藩)

D　**世直し一揆(19世紀前半～〔おもに幕末〕)**

貧農層が，小作地・質地の返還〔土地の再分配〕，商人・高利貸しの特権排除，村役人の入札制度などを要求し，**豪商・村役人などを襲撃**。

☆領主に対する訴えは希薄。村方騒動と連動する場合が多い。

E　その他の一揆

1764年～　**伝馬騒動**(信濃国・上野国・下野国・武蔵国⇒**中山道**)

☆街道沿いの農民が助郷役の負担増に反対した広域闘争。

1856年～　**渋染一揆(備前国，岡山藩)**

☆被差別民が藩の差別強化政策に反対。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ｆ　その他の闘争

あ　**打ちこわし**（18世紀前半～）

農村・都市の貧民層が，豪農・豪商・高利貸しなどを襲い，店舗（てんぽ）・家屋（かおく）などを破壊する行為。百姓一揆は打ちこわしをともなう場合が多いが，単独でいう時にはおもに都市で発生するものをさす。

い　**国訴（こくそ）**　　**（18世紀半ば～）**

在郷商人の主導により，商品作物の生産者である農民が，**領主・都市問屋商人の流通独占に反対**して起こした**合法的訴訟**。

☆**畿内で発生**した広域請願（せいがん）闘争。綿花（めんか）・菜種（なたね）の流通問題をめぐる，摂津・河内（かわち）・和泉（いずみ）の国訴（1823年～）が有名。

う　**村方騒動（むらかたそうどう）**　**（18世紀後半～）**

村役人の不正・特権に対する貧農の村政改革要求闘争。村入用（むらにゅうよう）の公開や村役人の交代などを求めた。領主に直接抵抗する形態はとらないが，小作権をめぐり百姓一揆と連動することも多かった。

---

③特色

一時的･分散的で，社会運動として結束できず，参加者もほぼ貧民に限られた。

---

④意義

領主支配が後退し，封建社会の基礎が動揺（どうよう）。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈*Note*〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2　江戸時代後期の経済発展

①生産形態の発展

農村家内工業⇒問屋制家内工業⇒工場制手工業〔マニュファクチュア〕

☆生産工程の分化・地域的専業化が進展。

---

②商品流通ルートの多様化（たようか）

A　**在郷商人の成長**

あ　**消費地への直送ルートを開拓**

い　**都市問屋商人の流通独占に反対**

☆畿内では合法的訴訟（そしょう）である**国訴**（こくそ）を起こす。

B　諸藩の動き

専売制を実施，国産品を三都へ直送。

C　**江戸地廻り経済圏**（じまわ）の発達

幕府が江戸市場（しじょう）の自立をめざし，“地廻り経済”を育成。

☆**地廻り物**の特産地が成立（秩父・八王子の生糸・絹織物，武州木綿（ぶしゅうもめん），青梅（おうめ）の材木など）。

☆在郷商人の成長・階層分化の進行などにより**江戸周辺の農民が江戸に流入，関東**農村の荒廃が進む。

D　**大坂市場の地位低下**

天保期には，大坂問屋商人が扱う商品量が激減。

☆独自の流通ルートが各地で開拓されたため。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈***Note***〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3　大御所時代〔文化・文政時代〕

寛政の改革後の**11代将軍家斉**(いえなり)の治世（1793年～1841年）。

☆1837年，将軍引退後も**大御所**として政治をみる。

①背景

寛政の改革の失敗後，政治的意欲のない将軍の治世が，約50年の長期にわたり展開される。

☆社会不安が増大する中，江戸を中心に享楽的(きょうらくてき)・退廃的(たいはいてき)な**化政文化**が開花。

---

②性格

A　文化年間（1804年～17年）

老中松平信明(のぶあきら)ら“寛政の遺老(いろう)”が幕政を主導。寛政の改革の質素・倹約政策を継承。

B　文政年間（1818年～29年）

老中首座水野忠成(ただあきら)が幕政を主導。賄賂(わいろ)政治が横行し，幕府財政が放漫化(ほうまんか)。**大奥**(おおおく)生活も華美を極める。

---

③社会不安

農村・都市で階層分化が進行。無宿者(むしゅくもの)・博徒(ばくと)が横行し，**大都市とその周辺の治安が悪化**。

A　**関東取締出役**(とりしまりしゅつやく)**〔八州**(はっしゅう)**廻り〕**の設置（**1805年**）

天領・私領を問わず，**水戸藩を除く関八州の治安維持**にあたった。

B　**寄場組合**(よせばくみあい)の結成（1827年）

天領・私領を問わず，関八州すべての農村40～50カ村ごとに組合を結成させる。

☆近隣の村々が協同で治安維持・風俗取り締まり・農村秩序の維持などにあたった。

C　**文化の撫恤令**(ぶじゅつれい)**〔薪水給与令**(しんすいきゅうよれい)**〕（1806年）**

D　**異国船打払令**(うちはらいれい)**〔無二念**(むにねん)**打払令〕（1825年）**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④大塩の乱（1837年）

A　**原因**

天保の飢饉（1833年～36〔39〕年）に対する幕府の無為無策，豪商の米買占めなどへの憤激。

B　蜂起

大坂町奉行所の元与力大塩平八郎と門人らが，町奉行殺害と豪商の襲撃を計画。

☆大塩は**陽明学者**で，家塾「洗心洞」を開いていた。

C　鎮圧

檄文を配布して貧民に参加をよびかけたが，密告や準備不足により，わずか半日で鎮圧。

D　**影響**

あ　**幕府・諸藩へ衝撃，幕府の権威は失墜**

☆重要直轄都市で，幕府の元役人が蜂起したため。

い　**全国へ波及**

生田万の乱（1837年，越後国柏崎の国学者）の他，各地に一揆・打ちこわしを誘発。

☆江戸には御救小屋が多数設置され，打ちこわしを未然に防いだ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4　天保の改革

12代将軍家慶（いえよし）の初期治世。**老中首座**となった**水野忠邦（みずのただくに）**（浜松藩主）が，幕政の再建・強化をめざし，改革を強引（ごういん）に推進。**（1841年～43年）**

①背景

A　**深刻な財政難と内憂外患（ないゆうがいかん）**

あ　大御所時代の放漫（ほうまん）財政により幕府財政は破綻（はたん）。

い　百姓一揆・打ちこわしの頻発（ひんぱつ）。

う　欧米列強の接近による外圧（がいあつ）の高まり。

B　**大御所家斉（いえなり）の死（1841年）**

約50年の長期にわたり実権を握り続けた。

---

②性格

復古理想主義⇒享保・寛政の改革を手本とする。

---

③生活の緊縮

A　**倹約令**

贅沢（ぜいたく）な菓子・料理・衣服・初物（はつもの）の禁止など，庶民生活の細部（さいぶ）にまで及ぶ。

B　風俗取締り令

南町奉行鳥居耀蔵（とりいようぞう）が中心となり推進，江戸における経済活動の停滞を招いた。

あ　芝居小屋（江戸三座〔中村座・市村座・森田座のち守田座〕）の浅草への移転

い　歌舞伎役者に編笠（あみがさ）着用を強要

う　寄席（よせ）の大量取り潰（つぶ）し

C　**人情本（にんじょうぼん）・合巻（ごうかん）の処罰**

為永春水（ためながしゅんすい）『春色梅児誉美（しゅんしょくうめごよみ）』（人情本），**柳亭種彦（りゅうていたねひこ）『偐紫田舎源氏（にせむらさきいなかげんじ）』（合巻）**を発禁処分。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④農村復興策

A　**人返(ひとがえ)しの法〔人返し令〕（1843年）**

江戸の人別改(にんべつあらた)めを強化し，農民の出稼(でかせ)ぎ禁止・流入(りゅうにゅう)貧民の帰村を**半強制**。

☆都市人口の抑制と荒廃した農村の再建をはかるが，江戸を追われた無宿者や浮浪人により，かえって治安が悪化し失敗した。

B　印旛沼掘割(いんばぬまほりわり)工事　　　　（1843年）

田沼時代の干拓(かんたく)に引き続き工事を試みたが，またも失敗に終わる。

---

⑤経済統制

A　**株仲間解散令　　　　（1841年）**

物価引下げと商品流通の直接統制をはかるが失敗，かえって物価の上昇・流通関係の混乱を招いた。

☆**1851年**，老中首座阿部正弘(あべまさひろ)が**株仲間再興令**を発布。都市問屋商人＋在郷商人で再興させ，冥加(みょうが)も免除した。

B　棄捐令(きえんれい)　　　　（1843年）

札差(ふださし)からの借金のうち，半分は幕府が公金(こうきん)を出し免除，残り半分は無利息(むりそく)で年賦(ねんぷ)返済とした。

☆旗本・御家人の救済をはかるが，一時的効果のみに終わる。

---

⑥対外政策の緩和

アヘン戦争（1840年～42年，○イギリスvs清●）の結果を受け，従来の異国船打払令を撤回，**天保の薪水(しんすい)給与令**を発布**（1842年）**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑦政治統制

A　西洋砲術の採用

長崎から**高島秋帆**を招き，江戸郊外の徳丸ガ原で西洋砲術の訓練を実施。

B　“三方領知替え”の撤回（1841年）

川越藩〔武蔵国〕の財政難救済のため，1840年にいったん転封を決定（川越藩⇒庄内藩〔出羽国〕，庄内藩⇒長岡藩〔越後国〕，長岡藩⇒川越藩）したが，大名・領民からの反対により，翌年撤回。

☆幕府に対する藩権力の自立，幕府の土地支配権の動揺が露呈した事件。

C　**上知令（1843年）**

領地支配が錯綜していた**江戸・大坂周辺約50万石の天領編入計画。幕府権力の強化・年貢収入の増加・対外防備の強化を意図した**が，大名・旗本・農民・町人らの**総反対により撤回**。

☆**水野忠邦は失脚**，反対派の土井利位が老中首座となる。

---

⑧結果

過度の強引さ・厳しさにより，世人の不満が爆発し失敗。**幕府は決定的に衰退**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈***Note***〉

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

5　後期の藩政改革⇒藩政改革に成功した藩は，幕末に**雄藩**(ゆうはん)として活躍。

①特色

A　**人材の登用**

中・下級藩士を積極的に登用。

B　財政の再建

借財の整理，国産品の奨励，専売制の実施など。

C　藩権力の強化

百姓一揆・打ちこわしなど領民抵抗の圧伏(あっぷく)と，軍事力の強化。

---

②薩摩藩〔鹿児島藩〕⇒77万石の外様(とざま)

藩主島津斉興(なりおき)の祖父重豪(しげひで)が**調所広郷**(ずしょひろさと)を登用(1827年～)。

A　財政再建

あ　藩債500万両の無利息250年賦返済

い　奄美三島(あまみさんとう)〔大島(おおしま)・徳之島(とくのしま)・喜界島(きかいしま)〕特産の**黒砂糖**〔甘蔗(かんしゃ)〕の専売制を強化

う　**琉球王国を通じた清との密貿易**を拡大

B　軍事改革(幕末期)

あ　**島津斉彬**(なりあきら)・忠義(ただよし)の代に，反射炉・兵器工場・硝子(ガラス)工場(これらの洋式工場群を**集成館**(しゅうせいかん)という)を建設。

☆のち，わが国初の機械紡績(ぼうせき)工場である鹿児島紡績工場も完成。

い　**長崎**在住の**イギリス商人グラバー**から洋式武器を購入

---

③長州藩〔萩(はぎ)藩〕⇒37万石の外様

1831年の防長(ぼうちょう)大一揆を契機に，藩主毛利敬親(もうりたかちか)が**村田清風**(むらたせいふう)を登用(1837年～)。

A　藩債銀８万5000貫(約140万両)を整理

37カ年賦皆済仕法(かいさいしほう)を実施したが失敗。のち越荷方(こしにかた)の利益をつぎ込み完済(かんさい)。

B　紙・蠟(ろう)の専売制を改革

C　**越荷方**の強化

下関(しものせき)(長門国)に設置。諸国の廻船(かいせん)の積荷(＝越荷(こしに))を対象に，貸倉庫・金融・委託(いたく)販売を行い収益を上げる。

☆その収益は，軍艦購入費にもあてられた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④肥前藩〔佐賀藩〕⇒36万石の外様

藩主**鍋島直正〔閑叟〕**自らの改革，人材登用も積極的に行う(1830年～)。

A　財政の安定

あ　**均田制**の実施⇒土地の再分配

本百姓体制の再構築をめざし，商人地主を抑えて小作地を解放した。

い　**有田焼〔伊万里焼〕**・石炭の専売制を強化

B　軍事改革

あ　洋学・西洋砲術の積極的導入

い　**わが国初の反射炉**を備えた大砲製造所を建設(1850年)

---

⑤土佐藩〔高知藩〕⇒24万石の外様

藩主山内豊熙が，「おこぜ組」とよばれる改革派を登用。財政を緊縮し商業資本と絶縁して健全な財政をめざすが，保守的な門閥層の抵抗により挫折(1843年)。

☆のち**山内豊信〔容堂〕**が「新おこぜ組」(吉田東洋ら)を登用。

---

⑥水戸藩⇒35万石の親藩〔御三家〕

藩主**徳川斉昭**が，**藤田東湖・会沢正志斎〔安〕**ら尊王論者を登用(1829年～)。均田制・西洋流の軍事改革・海防強化・**藩校弘道館**の設立などを行うが，保守派の反対などにより挫折。

---

⑦その他

越前藩〔福井藩〕(⇒32万石の親藩)の**松平慶永〔春嶽〕**，**宇和島藩**(⇒10万石の外様)の**伊達宗城**などが積極的に藩政改革を推進。

※幕末期の幕府

1845年，老中首座に復帰していた水野忠邦が罷免され，**阿部正弘**(福山藩主)が後任となる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第30講　確認テスト

1　17世紀後半に発生した，村の名主層が将軍や藩主に直訴する一揆を何というか？

①　代表越訴型一揆　②　惣百姓一揆
③　全藩一揆　④　世直し一揆

2　主に都市の貧民層が，豪商・高利貸しなどを襲い，店舗・家屋などを破壊する行為を何というか？

①　百姓一揆　②　打ちこわし　③　村方騒動　④　国訴

3　1856年から岡山藩で発生した，被差別民による一揆を何というか？

①　元文一揆　②　郡上一揆　③　武左衛門一揆　④　渋染一揆

4　江戸時代後期以降，関東地方の特産物を上方からの「下り物」に対し何といったか？

①　蔵物　②　納屋物　③　地廻り物　④　上り物

5　江戸城内の，将軍以外の男子禁制で女性のみが暮らす場所を何というか？

①　内裏　②　聚楽第　③　評定所　④　大奥

6　1805年に設置された，天領・私領を問わず，水戸藩を除く関八州の治安維持にあたる役職とは？

①　道中奉行　②　高家　③　関東郡代　④　関東取締出役

7　1837年，陽明学者でもあった大塩平八郎が反乱を起こした都市とは？

①　江戸　②　京都　③　大坂　④　駿府

8　1837年，越後国柏崎の桑名藩陣屋を襲撃した国学者とは？

①　平田篤胤　②　生田万　③　藤田幽谷　④　頼山陽

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　12代家慶の下で，老中首座水野忠邦が天保の改革を始めた年は？

①　1839年　②　1841年　③　1842年　④　1843年

10　1841年に出された株仲間解散令が撤回されたのは何年後であったか？

①　１年後　②　５年後　③　10年後　④　撤回されず

11　『春色梅児誉美』を著し処罰された人情本作家とは？

①　山東京伝　②　恋川春町　③　柳亭種彦　④　為永春水

12　長崎から招かれ，江戸郊外徳丸ガ原で西洋砲術の訓練を実施した人物とは？

①　末次平蔵　②　荒木宗太郎　③　西川如見　④　高島秋帆

13　1843年，反対が多く撤回された，江戸・大坂周辺約50万石の天領編入計画とは？

①　三方領知替え　②　人返し令

③　上知令〔上地令〕　④　均田制

14　島津重豪に登用され，命懸けで財政改革を果たした薩摩藩士とは？

①　調所広郷　②　村田清風　③　吉田東洋　④　会沢正志斎

15　長州藩の財政再建に大きく寄与した，下関にあった役所とは？

①　国産会所　②　越荷方　③　二十四組問屋　④　十組問屋

解答

1	①	2	②	3	④	4	③	5	④
6	④	7	③	8	②	9	②	10	③
11	④	12	④	13	③	14	①	15	②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。